

令和 8 年度 第 1 回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和 8 年 8 月 21 日（金） 午前 10 時 30 分～12 時 00 分
- 2 場所 生涯学習センター 第 3 教室
- 3 出席者 長田委員、山本委員、岡本委員、武藤委員、清水委員、鈴木委員、田村委員、
桑原委員、押田委員
（練馬区）文化・生涯学習課長 （事務局）生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 川井委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 運営懇談会委員自己紹介
 - (3) 事務局職員紹介
 - (4) 正副座長選出
 - (5) 議題
 - ① 令和 7 年度事業結果報告について
 - ② 令和 8 年度事業結果報告（4 月～7 月）および事業予定について
 - (6) その他
生涯学習センター受変電設備等改修工事に伴う休館について
- 7 配布資料
 - 資料 1 令和 8・9 年度練馬区生涯学習センター運営懇談会委員名簿
 - 資料 2 練馬区立生涯学習センター運営懇談会設置要綱
 - 資料 3 令和 7 年度事業結果報告
 - 資料 4 令和 7 年度施設利用実績
 - 資料 5 令和 8 年度事業結果報告（7 月まで）
 - 資料 6 令和 8 年度生涯学習センター事業計画
 - 資料 7 生涯学習センター空調設備等改修工事に伴う休館等のお知らせ
- 8 会議の概要
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶

- (2) 運営懇談会委員自己紹介
- (3) 事務局職員紹介
- (4) 正副座長選出

<所長> 本日は、令和8・9年度の任期最初の運営懇談会となります。座長選出まで進行を務めさせていただきます。

はじめに、練馬区生涯学習センター運営懇談会について、練馬区生涯学習センター運営懇談会設置要綱に基づき説明いたします。(要綱の説明)

続いて正副座長の選出です。運営懇談会設置要綱の第3条第2項に「座長は委員の互選により選出し、副座長は座長が指名する」と規定されています。本日、川井委員は欠席ですが、委員の皆様から引き続き座長の継続をとという声があれば、その期待に沿えるように頑張っていきたいとお話しました。事務局といたしましては、これまで文化・生涯学習分野の活動を通して様々な実績やご経験もあり、また直前まで座長を務めてこられました、川井委員に、引き続き座長をお願いしてはいかがかと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

<委員> ー異議なしー (拍手)

<所長> それでは、座長は引き続き川井委員にお願いしたいと思います。続いて副座長の選出です。運営懇談会設置要綱第3条第2項の規定により、副座長は座長が指名することになっております。川井委員からは、自分が座長を務める場合、副座長は前期も副座長を務められた岡本委員に引き続きお願いしたいという話を伺っております。皆様いかがでしょうか。

<委員> ー異議なしー (拍手)

<所長> それでは、副座長についても、引き続き岡本委員にお願いしたいと思います。次第(5)以降は、副座長に進行をお願いいたします。

(5) 議題

①令和7年度事業結果報告

②令和8年度事業結果報告(4月～7月)および事業予定について

所長から資料3・資料4・資料5・資料6に基づき説明(内容省略)

<副座長> では、各委員からご意見をお願いいたします。

<委員> 分館の利用が少し減ってきていますね。

<所長> 分館の利用が少ないのは、最寄り駅から遠く、交通の便が悪いことが大きな要因と考えています。一方で、大きな音が出ることが可能な部屋があったり、駐車場の台数が多かったりと、そうした部分をメリットと感じて利用されている団体さんもいらっしゃいます。

<副座長> 生涯学習センターの部屋は、人気で予約が取れないことがあります、分館の方はどうでしょうか。

<所長> 土日や祝日の音楽室などは人気が高く、予約が取りづらいと思います。一方で、平日はかなり予約が取りやすい状況だと思います。生涯学習センターを予約できなかった方に対して、ご利用の目的をお聞きしながら、分館のご利用をご案内することがあります。

<委員> 予約システムが新しくなったことで、利用に何か変化が出てきていますか。

<所長> 7月に予約システムが更新され、予約できる対象施設が増えました。そのため、これまで生涯学習センターを利用されなかった団体が他の施設から移ってくる場合もあれば、生涯学習センターを利用されていた団体が他の施設を利用されるようになる場合も生じていると思います。まだ新しいシステムが始まったばかりですので、もう少し時間をかけて見ていく必要があると思います。

<委員> 予約システムの関連ですが、新システムでは、利用する施設ごとに利用登録が必要ですか。

<所長> 文化施設であれば、一度利用者登録を行えば、基本的には対象施設全てで利用することができます。利用者登録は、オンライン申請もできますが、窓口での申請の場合は、主に利用される施設に申請してください。また、各施設の優先団体に登録することで、その施設を優先的に利用することができます。優先団体については、各施設によって要件が異なります。各施設の窓口およびシステムからオンラインでの登録が可能です。

<副座長> 一枚の利用者カードで多くの施設を利用できるけども、優先団体は一つ一つ見ていかなければならないということですね。移行期間でもあるので、ここに聞けばわかるというような、統一した窓口が設定されるといいかもしれませんね。

<所長> 予約システムの操作に関しては、利用者用ヘルプデスクが開設されています。施設の利用ルールや区の制度のことなどについては、各施設へお問い合わせいただく形になります。

<委員> 優先予約にしても、三か月前の施設もあれば、四か月前の施設もあるなど様々なパターンがあって複雑に感じます。

<所長> 新しい予約システムは、これまであった三つのシステムを統合し、対象施設が増えました。ただし、優先団体は、システムが統合される前からそれぞれの施設で優先期間を設けて運用していたため、この部分を統一することは難しかったのかなと思います。

<委員> 緑ジョイ倶楽部は3日制や5日制の連続講座となっていますが、連続講座にしては受講率がいいなと感じました。通常、連続講座の場合、最初の一日目だけ来て、その後は参加しないということもあると思います。受講率がいいということは、関心を持ってしっかり勉強したい方、体験したいと思う方が来られているのだなと思いました。

<委員> 今、お話のあった緑ジョイ倶楽部で講座を受け持ちました。多くの方にご参加いただき、受講率が高いことはうれしく思っています。ただ、講座後も活動を継続していただけの方が少ないことが残念で、何か良い方法はないかなと思っています。講座後に既存の会に入ったり、新しくサークルを作ったりという段階までは、なかなか行きません。

<事務局> 今年の春の緑ジョイ倶楽部では、新しくサークルが立ち上がった講座もありました。これは、講座が終わっても、引き続き活動を継続したいという方が多かったこと、その中でリーダーシップを取って自分が代表を務めてもいいという方がいたことが一番大きかったと思います。リーダーをやってもいいという方がいると、会の立ち上げがスムーズにいくと感じました。センターとしても、出来れば体験して終わりではなく、引き続き既存の会に入るなり新しくサークルを立ち上げるなりして活動を継続していただきたいと思っていますので、そうした方向での受講生に対するサポートも継続していきたいと思っています。

<委員> 私が担当した講座では、これまで参加された方たちで新しいチームを作ってその方たちのフォローを行っています。ただし、活動を継続される方の確率はかなり低くなっています。そもそもそんなに高い確率にはならない、低い確率であることを前提として考えていかないといけないのではないかと思います。

<委員> 活動を継続される方が4、5人いるのだったら確率はいい方だと思います。

<委員> 確かに、グループを新しく作るということになると、必ずその中にリーダーが必要になると思います。自分の経験から言うと、10人いたら、大体3人くらいはそのような方がいないと、うまくいかないと思います。毎年、新しい方たちが講座を受講するとして、新しいグループを作って活動するというのは、次のステップに移っていく方法としてとてもいいことなのですが。

<副座長> 私は、たとえ活動の継続に繋がらなくても、講座で体験をしていただくことで、一人一人が新しいことを知ったのだ、と思うようにしています。

<委員> 「区民発」生涯学習出前講座の講師は、文化団体の方たちが登録しているのでしょうか、それとも一般区民の方で特技をお持ちの方が登録しておられるのですか。

<所長> 「区民発」生涯学習出前講座は、様々な趣味や特技を持つ区民の方々がボランティア講師として登録し、学校や地域の団体等に求めに応じて講座を行っていただく事業となっています。登録できる方は、区内在住・在勤・在学の個人、または区内を中心に活動する団体・サークルとなっております。文化団体などに限定はされておられません。

<委員> 出前講座の実績はどのようなのでしょうか。

<所長> 活発に利用されているという状況ではありません。扱っているテーマにあまり需要がなかったり、謝礼は実費程度という点がネックになっているかもしれません。また、講師を依頼する側が、直接、講師と調整していただく形のものになります。その点、区が講座を主催する縁ジョイ倶楽部の事業とは異なります。

<委員> それを踏まえて、登録講師の方たちを紹介するような機会を作ることができないかなと思いました。一つの宣伝にもなると思いますし、色々な趣味や特技を持った方をその方に合った文化団体に繋げることができるような機会も必要なのではないかと思います。

<副座長> そうですね。情報を見た方が、自分も講師として登録しようと思うかもしれません。情報に接する機会を多くつくるというのは、良いことではないかと思いました。

<委員> 皆さんのお話をうかがってきて、活動を継続していくには、リーダーシップが非常に必要なのだなと思いました。また、「武蔵大学特別履修生制度」の報告では、入学者数が昨年よりも増加したとのことでした。これはどうしてなのかと考えましたが、定年退職

をされた方で、資格や能力を持ちたくて学びたいと思う人が多くなっていることも影響しているのかなと思いました。大学が開催する講座は高額なものでも満員になってしまうと聞きます。この制度では比較的低額で受講できるので、こういった機会が少しでも増えたらいいと思います。

<所長> 受講生は非常に熱心です。授業についていくことは大変だと思いますが、社会人になってから勉強すると、自分が若い学生の時とは違った学びの面白さが感じられるようです。また、今の若い学生達と一緒にゼミを受けることで非常に刺激を受けているように思います。

<副座長> それでは(6)その他に移らせていただきます。

(6) その他

生涯学習センター受変電設備等改修工事に伴う休館について
所長から資料7に基づき説明（内容省略）

<副座長> ただいまの説明について、質問がなければ、これで本日の運営懇談会を終了いたします。本日は様々な意見が出てよかったと思いますが、女性委員を増やしてもっと女性の方の意見を聞くことも将来的に必要なと思いました。次回の運営懇談会は、来年3月の開催予定ですが、生涯学習センターの利用や事業に関して何かテーマを決めて意見交換も実施したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。